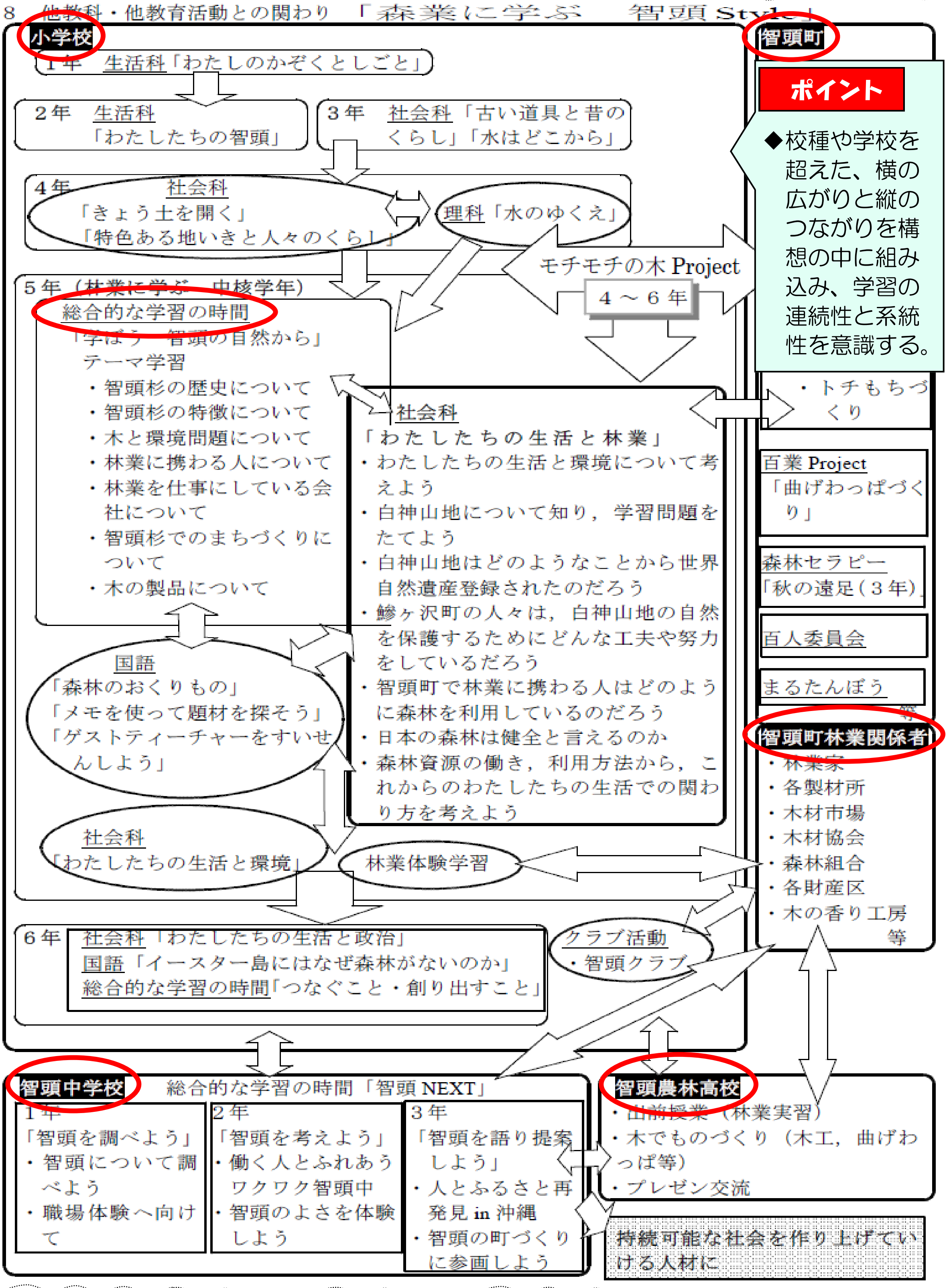
（２）他教科と関連づけた単元構想図　① 社会科の例

社会科とその他の活動（他校種・地域を含む）との関連　　＜小学校　第５学年＞



ポイント

◆校種や学校を超えた、横の広がりと縦のつながりを構想の中に組み込み、学習の連続性と系統性を意識する。

②　道徳の例

道徳の時間とその他の活動との関連　　　　　　　　　　＜小学校　第３・４学年＞

4　教科・領域、日常生活とのかかわり《児童の意識の流れ

ポイント

◆児童の意識の流れを示し、道徳の時間の発問や、予想される児童の反応へと結びつける。

《各教科・領域・行事等》

４月
学級活動
「こんな３年生／４年生になりたいな」（３・４年）
「係の仕事を決めよう」（３・４年）

５月
学級活動
「自分の長所」（３年）

６月
行事「明治地区大運動会」一輪車
行事「船上山少年自然の家宿泊学習」
体育「水泳」

苦しくても頑張って２５ｍを泳げるようになるぞ。

９～１０月
学級活動
「前期のふり返りと後期の目標」（３・４年）
「後期の係を決めよう」（３・４年）

１月
行事「スキー教室」

１～３月
総合的な学習の時間
「２分の１成人式」（４年）

今までいろいろな人の支えで頑張ってこれたんだ。
○○な人になれるように頑張るぞ。

３月
学級活動
「もうすぐ4年生／5年生」（3・4年）

《道徳の時間》

新しい学年になったぞ。前の学年で苦手だったことをめあてにして頑張るぞ。

全校みんなで走るので苦しくても歩かないように頑張ろう。

・自分が決めた目標は、すぐにできなくてもあきらめずにしよう。
・周りの人の励ましがあって、頑張れることもあるんだ。

７月　自分がやろうと決めたことだから（合同）
「二重とびチャンピオン」　１－（２）
《本時》
自分がやろうと決めたことは、あきらめないでやろうとする心情を育てる。

・英世は、小さい頃から医学の道に進む目標をもち、強い気持ちで努力したんだ。
・自分が決めたことは、あきらめないでできるまで続けてみよう。

２月　将来の目標に向かって（３年）
「医学の道に進みたい」～野口英世～１－（２）
自分がやろうと決めたことは、ねばり強くあきらめないでやろうとする心情を育てる。

２月　失敗に負けないで（４年）
「運動オンチのオリンピック」１－（２）自分がやろうと決めたことは、ねばり強くあきらめないでやろうとする心情を育てる。

・秋山さんは、失敗をバネにして努力し、新体操が大好きになり夢をかなえたんだ。
・あきらめないでやり続けるともっとすばらしい自分になれるかも。
・決めたことは最後までやり遂げていこう。

《

・朝
・毎
・や
・前期、後期のめあてと月ごとのふり返り

自分にできそうなめあてを立てて頑張っていこう。
少しよくなったけど、忘れずに続けていこう。

・係活動や当番活動

時間を決めて活動すると、忘れずにできるようになるぞ。
忘れている友達がいたら、声をかけよう。

・１００％週間の取組

みんなで頑張って１００％を達成するぞ。
できるまでみんなで声をかけあって頑張るぞ。

・友達のよいところや頑張っっているところ見つけ

頑張っているところをみんなにほめてもらえるとうれしいな。
また頑張ろう。
わたしも頑張っている友達を見つけよう。